

ヒューマンリソースマネジメント

梁取 美夫 教授

1. 担当教員の専門分野(研究領域)・現在の研究テーマ

学位は PhD in Human Resource Studiesです。組織レベルで見た人材マネジメントについて、なかでも給与報酬制度を中心に研究しています。また人材マネジメントに絡めて他の領域についても研究しています(例:研究者の人材マネジメントと組織のイノベーション、サプライチェーン・マネージャーの能力とサプライチェーンのレジリエンス、取締役のダイバーシティと組織のパフォーマンスなど)

2. 指導方針

修士レベルであれば、内容が斬新でなくともソリッドな論文を書けるように指導します。研究指導の際の教材は殆どが英語のもの(英語論文、英語のテキスト)になります。基本的には量的研究を志向しますが、質的研究もトピック次第では指導します。また研究者を目指さない人であっても指導を行います。

3. 学生に対する要望・その他

修士レベルでは前提となる知識については多くを求めませんが、指導を受け入れる最低条件として以下の2点があります:(1)(教材は英語のものが殆どですので)英語の論文を大量に読むことができること(2)(量的研究において統計手法を使用しますので)数字に拒否反応が無いこと。能力があれば出身地(日本又は海外)は問いませんが、英語(又は日本語)の運用能力が一定のレベルにあることが必要です。